

## 一般質問



### 南海トラフ地震に備える孤立対策

ふじね まさのり  
**藤根 正典** 議員 新政みえ/東紀州選出



**問** 南海トラフ地震の今後 30 年以内の発生確率が「60%～90% 程度以上」に見直され、切迫性が高まる中、孤立地域の課題への対処を加速させる必要があります。この認識のもと、県が令和 7 年度に実施した取り組みと、今後の対策の進め方について、お聞かせください。

**答** 令和 7 年度に創設した「いのちを守る防災・減災総合補助金」の孤立地域対策枠を活用し、市町では食料等の備蓄や通信手段の確保等が進められ、令和 8 年度もこの枠に同額の予算を計上しています。また、実証調査を踏まえ作成するガイドラインを用い、今後、市町を対象に、ドローンを活用した災害時物資輸送の勉強会を開催します。引き続き、孤立の恐れがある地域の方々が安心して暮らせるよう、市町とともに防災対策に取り組みます。

#### その他の質問事項

- 中山間地域のこれからをどう考えるのか？



### 外国人受入れについての県の考え方

なんば せいこ  
**難波 聖子** 議員 参政党/桑名市・桑名郡選出



**問** 育成就労制度の施行など、外国人の受入れが進む動きを十分認識していない県民も多い中、国に対して移民の受入れ数の制限や停止、家族帯同の不可を要望いただきたいです。外国人との共生に不安を抱く県民に対し、県はどのように取り組んでいくのか、知事の考えをお聞かせください。

**答** 生産年齢人口が減少する中、外国人労働者なしに経済は回らない状況です。冷静で論理的な議論が大事であるため、全国知事会等を通じ、外国人の受入れの基本的な在り方や、正確な情報の積極的な発信を国に働きかけています。令和 8 年度は、庁内の外国人政策の総合調整を行う課を設置するほか、「みえ地域日本語教育支援センター（仮称）」の設置等、外国人も地域社会を共につくる一員として包摂する共生社会の充実を目指します。

#### その他の質問事項

- 0-2 歳児の子育て支援について



### 交通安全施設の設置における現状と課題

つだ けんじ  
**津田 健児** 議員 自民党県議団/四日市市選出



**問** 要望があっても基準を満たさず設置に至らない信号や横断歩道の代替として期待される、ライトアップ表示板<sup>3</sup>や歩行者横断指導線のような新たな交通安全施設の必要性や設置基準について、県・市町・警察等の関係機関が連携し、情報共有や効果検証を行うよう提案します。県の考えを伺います。

**答** 県内外の効果的な事例や効果検証等について関係機関と情報共有・意見交換することは有益と考えています。県内の路面標示についての意見交換や検討等を行うことを目的とする「三重県内道路路面標示連絡調整会議」は、国・県・警察で構成し、同会議のワーキンググループには市町も参加していますので、これらを活用して道路交通の安全確保に向けた関係者との連携を図っていきます。

#### その他の質問事項

- 次期教育施策大綱について
- 職親<sup>4</sup>について ほか



### 不本意で非正規として働く女性のための正社員化支援

やまざき ひろし  
**山崎 博** 議員 自由民主党/四日市市選出



**問** 報道によると、三重県は、フルタイムで働く男女の賃金格差が全国最下位と、大変不名誉な結果です。解決策の一つに、非正規で働く女性の正社員化が挙げられます。不本意で非正規職員として働く女性が正社員として働くための県の現状の取り組みと、今後の対応方針についてお聞きします。

**答** 令和 4 年の国の調査によると、不本意ながら非正規で働く女性は県内に 1 万 2100 人います。県では、ライフイベントが生じて柔軟に働き続けられる短時間正社員制度等の活用促進のため、企業へのアドバイザー派遣等を行っています。また、ビジネススキル習得研修の実施によるスキルアップ支援にも取り組んでいます。今後も、優良事例の横展開や、企業と求職者のマッチング機会を提供し、女性一人一人に寄り添った支援を行います。

#### その他の質問事項

- 中小企業・小規模企業におけるDXの推進
- 中小企業・小規模企業における「多様な働き方」の推進 ほか



### 県立高校における地域産業と連携した人材育成の推進について

いちかわ たくと  
**市川 岳人** 議員 自由民主党/伊賀市選出



**問** 地域産業と連携した人材育成は重要な課題です。桑名高校や四日市工業高校等では、卒業後、専攻科でさらに専門性を高める仕組みに取り組んでいます。介護、ものづくり、農業等、地域に必要な人材育成を推進するには、専攻科の新設や拡大の検討が必要と考えますが、県の考えを伺います。

**答** 専攻科の新設は、将来的には有効な選択肢の一つですが、生徒の就学意向の把握、産業界のニーズ確認、教員確保も含めた中長期的な計画の検討が必要です。国の高校教育改革事業は令和 10 年度までの 3 年間の取り組みであるため、まずは先導的な役割を担う改革先導拠点校<sup>5</sup>の取り組みに注力し、3 年間で成果を上げられるよう準備を進めるとともに、先進的な教育内容や産業界との連携で得たノウハウを、他の高校にも広く展開していきます。

#### その他の質問事項

- 地域公共交通について
- 生活環境および自然環境の保全について ほか



### 魅力ある新しい道路計画“現代の伊勢街道づくり”について

そが まさひこ  
**曽我 正彦** 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



**問** 県内の高規格道路は山側に集中しています。みえ川越 I C から伊勢市まで、現代の伊勢街道・参宮街道として高規格道路を新たに整備し、さらに鳥羽市まで延伸すれば、雇用や産業振興、物流効率化の他、観光等にも裨益し、県南部の活性化等、県の新たな発展につながると考えますがいかがですか。

**答** 三重県の新広域道路交通計画では、みえ川越 I C と四日市港とを結ぶ四日市湾岸道路が位置付けられています。今後、鈴鹿四日市道路や北勢バイパスが整備されれば、四日市から伊勢までがつながり、連続性・代替性が高まります。まずは既に計画されている幹線道路網の 1 日も早い完成を目指しつつ、既存の道路網においてもデータ等を活用したサービス向上に取り組めます。

#### その他の質問事項

- 誰もが豊かに住み続けることができる三重づくりを
- 県民を守り抜く魅力ある三重づくりを